

BricsCAD ボーナストール

# BricsCAD 環境設定引継ぎ ツール



## ・概要

本ツールは同一の PC で BricsCAD の旧バージョンのプロファイル(環境)を新バージョンに引き継ぐためのツールです。

BricsCAD の新バージョンと旧バージョンが混在インストールされている状態では、新バージョンの初回起動時にプロファイルなどの設定を新バージョンに移行するかどうか、確認のメッセージが表示されます。

この時、環境を移行しなかった場合、後から設定を引き継ぐことができません。

BricsCAD NW(BricsCAD ネットワーク版クライアントインストーラ)のインストール時には旧バージョンが(デフォルトで)アンインストールされます。その為、旧バージョンの環境移行を行うことができません。

本ツールでは、旧バージョンをアンインストール後でも、旧バージョンのプロファイルを新バージョンの BricsCAD に移行することができます。

ダウンロードファイル: BMig.zip

ダウンロードファイルを展開します。

プログラム名: BMig.exe

## ・事前準備

展開した BMig.exe をデスクトップにコピーします。

## ・使用方法

1. BMig.exe をダブルクリックします。
2. 旧バージョンの環境(プロファイル)が移行されます。

移行対象プロファイル

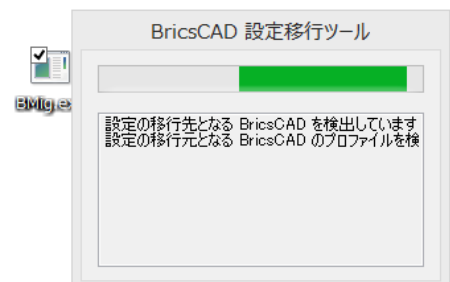
- ・ログオンユーザーのすべてのプロファイル
- ・ログオンユーザーの LocalRootFolder※1
- ・ログオンユーザーの RoamableRootFolder (default.cui と tipofday.txt \*.lnk は除く)※2
- ・メイン cui ファイルに読み込まれていた部分 cui ファイル※3

※1 LocalRootFolder は、主にテンプレートがコピーされるフォルダです。

※2 RoamableRootFolder は、メニューなどがコピーされるフォルダです。

※3 旧バージョンのメイン cui ファイル(後述)をカスタマイズしていた場合、その内容は新バージョンのメイン cui ファイルに引き継ぎません。

部分 cui については、新バージョンでも部分 cui として読み込まれた状態となります。



## インストール先がデフォルトでは無い場合のプロファイルの移行

旧バージョンのインストールの既定値(V14 の例)

"%Program Files%\Bricsys\BricsCAD V14 ja\_JP" (V14 の部分はバージョン、bit によって変わります)

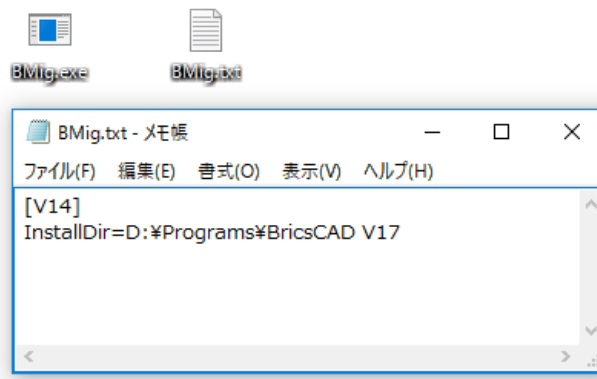
旧バージョンのインストール先が上記のデフォルト(既定値)では無い場合、任意に指定する必要があります。

1.BMig.exe と同じ場所にメモ帳などで BMig.txt を作成します。

2.BMig.txt を開き下記のように記述します。(インストール先:Dドライブの例)

[V14]

InstallDir=D:\Programs\BricsCAD V17



バージョンをセクション名とし、"InstallDir"をキーとして、インストール先のフォルダをフルパスで記述します。

但し、そのバージョンの BricsCAD が規定のフォルダにインストールされている場合、インストール先は設定ファイルではなくレジストリから取得されます。

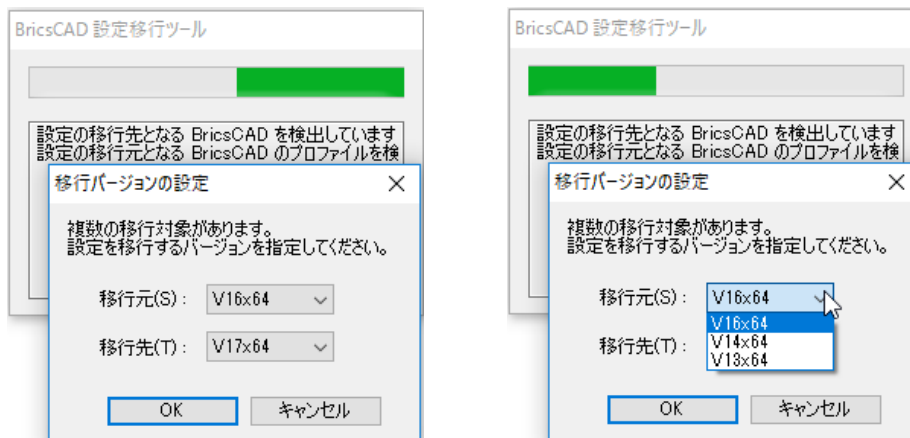
## ・複数のバージョンがインストールされている場合の移行

移行元または移行先のバージョンが複数存在する場合、選択するためのダイアログが表示されます。

移行元のバージョンと移行先のバージョンを選択してください。

例) V13,V14,V16 のプロファイルが残っていて、V17 がインストールされている場合

「移行元」から V13,V14,V16 のどちらから移行するかを選択します。



## ・コマンドライン オプション

コマンドプロンプトから本ツールを実行する場合、以下のコマンドラインオプションが使用可能です。

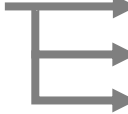

オプション	説明
/l	ログファイルのパスを指定する。指定が無いときは、%TEMP%\BMig.log に作成される。
/s	確認のメッセージボックスなどを出さずに実行する。
/source バージョン	移行元バージョンを指定する(例:/source V14)。 サイレントモード時で指定が無いか無効な場合、インストールされている最新の BricsCAD 未満で、最も新しいバージョンのプロファイルが移行元となる
/target バージョン	移行先バージョンを指定する(例:/source V12)。サイレントモード時で、指定が無いか無効な場合、インストールされている最新の BricsCAD が移行先となる。

複数のバージョンのプロファイルが残っている場合、コマンドラインにて“BMig.exe /source V14” 等のようにオプション指定することで、バージョンの選択画面を表示せず移行処理を実行可能です。

## ・部分 cui ファイルの移行

本ツールでは、部分 cui の読み込み状態も新バージョンの BricsCAD に移行します。

※BricsCAD V23 以降はワークスペースの構造が変化しているため、部分 cui は次のように移行されます。

移行元	移行先	補足
V22 以前 •default.cui 	V23 以降 •modern.cui •classic-ribbon.cui •classic-toolbar.cui	移行元のメイン cui (default.cui) でロードされていた部分 cui を、移行先の 3 種類のメイン cui に移行する。
V23 以降 •modern.cui •classic-ribbon.cui •classic-toolbar.cui 	V24 以降 •modern.cui •classic-ribbon.cui •classic-toolbar.cui	移行元の 3 種類のメイン cui でロードされていた部分 cui を、移行先の同名のメイン cui に移行する。

## ・制限事項

・ツールの実行前に、ログオンユーザで一度 BricsCAD を起動し、終了しておく必要があります。

※LocalRootFolder と RoamableRootFolder のいずれかが無い場合、処理を中止します。

・メイン cui に加えられた変更は元に戻ります（メニューの並び替えなども含む）。

・新しいバージョンのプロファイルを古いバージョンに移行することはできません。

・V15 から対応のリボンメニューは引き継ぎません。

以上